

# 我が国として整備すべき海洋研究船について (検討用資料)

平成19年1月25日  
文部科学省 海洋地球課

## 海洋研究船のサイズによるクラス分けの例（米国）

Ship Performance	Global Class	Ocean Class	Regional Class	Local Class
Endurance	50 days	40 days	30 days	20 days
Range	25,000 km	20,000 km	15,000 km	10,000 km
Length	70 – 90 m	55 – 70 m	40 - 55 m	< 40 m
Science berths	30 – 35	20 – 25	15 – 20	15 or less

出典：Charting the Future for the National Academic Research Fleet – A Long-Range Plan for Renewal –  
 (FORC, NOPP, NORLC, Dec 2001)

# 海洋研究開発機構所有の海洋研究船一覧

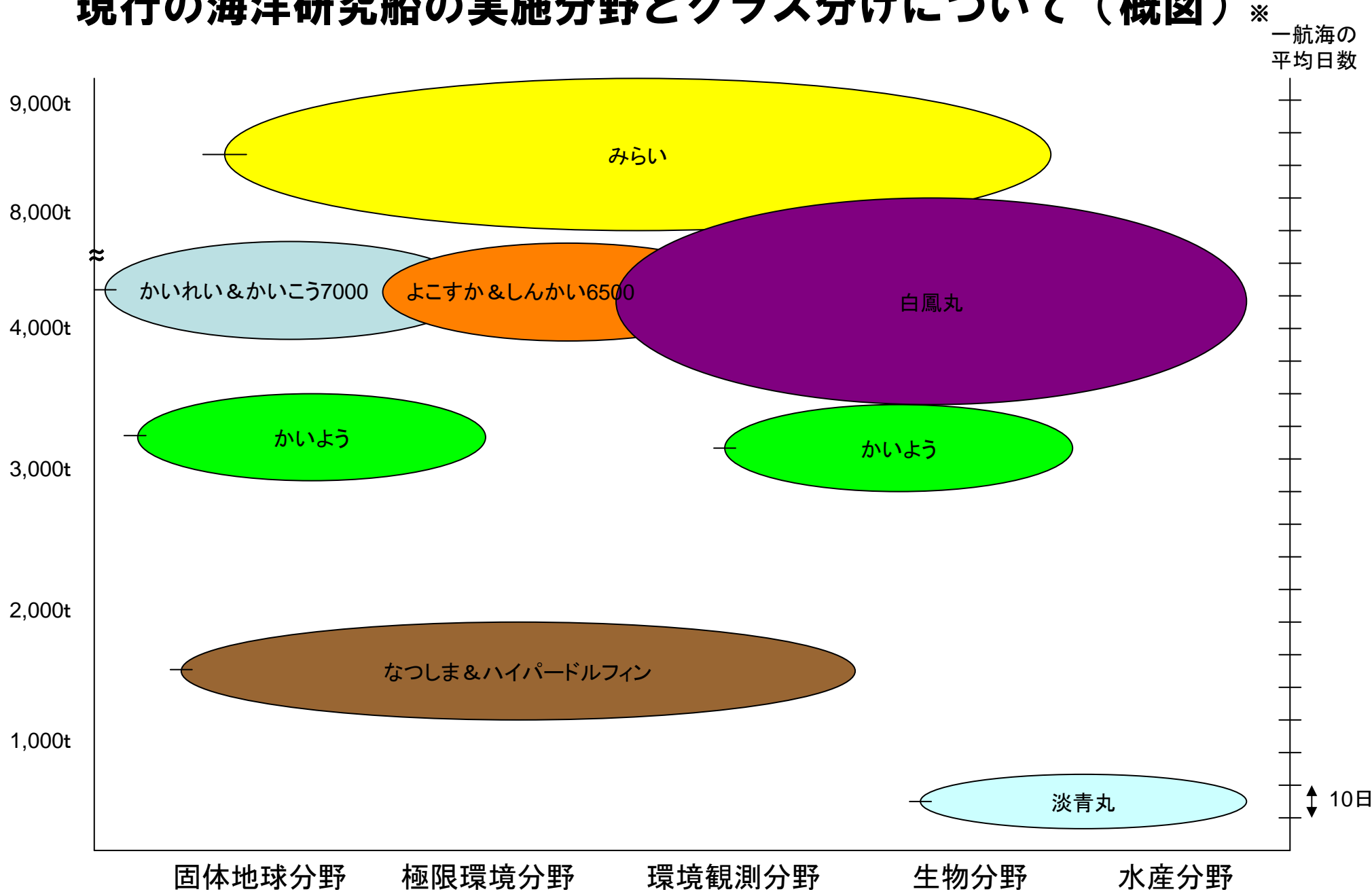
	Regional Class	Ocean Class		Global Class			
	淡青丸	なつしま	かいよう	白鳳丸	よこすか	かきれい	みらい
建造年	1982年	1981年	1985年	1989年	1990年	1997年	1997年
船体	全長 51.0m 幅 9.2m 深さ 4.2m	全長 67.4m 幅 13.0m 深さ 6.3m	全長 61.6m 幅 28.0m 深さ 10.6m	全長 100.0m 幅 16.2m 深さ 8.9m	全長 105.2m 幅 16.0m 深さ 7.3m	全長 104.9m 幅 16.0m 深さ 7.3m	全長 128.6m 幅 19.0m 深さ 10.5m
喫水	3.7m	3.8m	6.3m	6.0m	4.5m	4.5m	6.9m
総トン数	610トン	1,739トン	3,385トン	3,991トン	4,439トン	4,628トン	8,687トン
乗員数	38名	55名	60名	89名	60名	60名	80名
うち研究者等	11名	18名	31名	35名	15名	22名	46名
年間運航日数	289日	268日	268日	290日	290日	289日	308日
一航海の平均日数	9.3日	11.2日	19.1日	58日	16.1日	17.0日	51.3日
年間乗船研究員数	301名	320名	147名	293名	162名	106名	65名
うち大学関係者	274名	137名	42名	263名	46名	59名	18名

※年間航海日数及び年間乗船研究員数は、いずれも平成17年度実績。

## 海洋研究船の分野によるクラス分けのイメージ

	白鳳丸	淡青丸	よこすか	かいいい	かいよう	なつしま	みらい
固体地球分野	MCS, OBSによる海洋物理探査	ドレッジによる海底試料採取	有人潜水船による海底地形の目視観測及び試料採取	MCS/SCS, OBSによる海洋物理探査	MCS/SCS, OBSによる海洋物理探査	無人探査機による観測及び試料採取	ピストンコアラーによる試料採取
環境観測分野	CTD採水器による採水調査	CTD採水器による採水調査	有人潜水船による採水調査	無人探査機による採水調査		ドップラソナーによる観測調査	長期・外洋での各種観測機器による調査
極限環境分野	ピストンコアラーによる試料採取		有人潜水船による試料採取	無人探査機による試料採取	ピストンコアラーによる試料採取	無人探査機による試料採取	
生物分野	生物採集ネットによる海中生物の採取	生物採集ネットによる海中生物の採取	有人潜水船による海中生物観測及び試料採取	無人探査機による海中生物観測及び試料採取		無人探査機による海中生物観測及び試料採取	生物採集ネットによる海中生物の採取
水産分野	生物資源音響探査装置 (ARIS)による海中生物観測 (・ウナギの生態解明)	魚群探知機による観測				魚群探知機による観測	
備考			有人潜水調査船「しんかい6500」搭載	無人探査機「かいこう7000」搭載		無人探査機「ハイパードルフィン」搭載	「大型観測ブイ」設置・回収

# 現行の海洋研究船の実施分野とクラス分けについて（概図）



※すべての航海の分野を網羅しているものではない